

工 事 名	令和4年度 復旧治山工事(通常)工事
施 工 場 所	大野市 宝慶寺(普門坂)地係
請 負 業 者 名	株式会社 杉田組

全 景 写 真



型枠の一部にミエールフォーム(透明型枠)を使用し、コンクリート打設時のスペーシングの確認を行いながら施工し、コンクリートの品質向上を行い、出来形検測では帯テープとコンベックスでmm単位までの管理を行い、社内基準値50%の管理を行った。また、残存丸太型枠施工時に丸太の末口が凸凹にならないよう、丸太の末口の厚みを合わせ型枠組立を行い見栄えを考慮した。

工 事 名	令和4年度中山間地域総合整備事業(一般型)勝山東南部地区第5号工事
施 工 場 所	勝山市平泉寺町平泉寺 地係
請 負 業 者 名	株式会社タイセー

全 景 写 真



工事箇所は中山間地域の13枚の圃場が階段状に連続する農地の排水路の工事である。工事発注時期が7月下旬であり転作田(麦)の刈取りが終わり早期に現地に入ることが出来た。そして、9月に入りコシヒカリの刈取りを終え、手間のかかる急流工・静水工を仕上げ順調に工程管理が出来たことから降雪前に約8割の進捗を確保出来た。この順調な工程管理の一因として、9月に入ると降雨により上流谷あいからの出水がポンプ排水では追いつかないことから、圃場内にビニールシートを布設した仮排水路を設置したことにより工事を円滑に進めることが出来た。これで降雪前にほとんどの構造物を仕上げる事が出来、仕上がりが状況良好のものとなった。

工 事 名	令和4年度 予防治山工事(火山)
施 工 場 所	大野市上打波(福倉)
請 負 業 者 名	有限会社 和光

### 全 景 写 真



当該現場は法枠工・グラウンドアンカー工を施工し、山腹の安定を図る工事である。  
現場は山腹崩壊が発生し急峻で浮石等が点在する極めて不安定な斜面形態のため、法面は凹凸が激しく法枠を凹凸に合わせて施工すると鉄筋加工が複雑となり作業効率が悪くなる。法枠をアンカーの削孔角度に合わせて一定勾配とし鉄筋加工を無くした。  
また、アンカー緊張及び頭部処理用の足場を設置し作業の効率と安全の向上を図った。